RJ 鉄筋吊りクランプ

製品質量 10.4kg　製品コード：CSBL-1.5　リース・販売

二重ロック機構で安全安心！遠隔操作による、クランプの開放・取り外しが可能

鉄筋吊りクランプは、PC柱や壁筋などの構造物に対応。
2回操作式ロック解除で、誤操作やワイヤロープのからまりによる誤解除が無くなります。

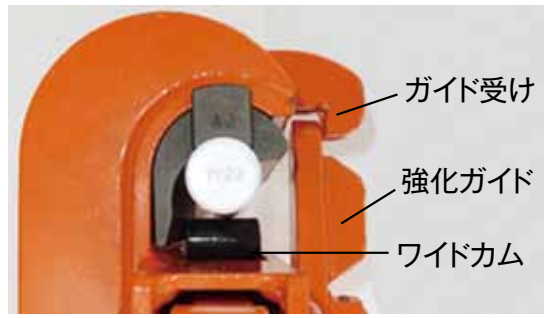
最大使用荷重1.5ton

危険！
- ●クランプの最大使用荷重を超える吊り荷は絶対に吊らないでください。
- ●丸棒・パイプを吊る場合は、吊り荷質量が軽量（最大使用荷重の1/5未満）のものは使用できません。
- ●許容範囲を超えた場合、クランプの破損・吊り荷の落下の原因となります。

特長

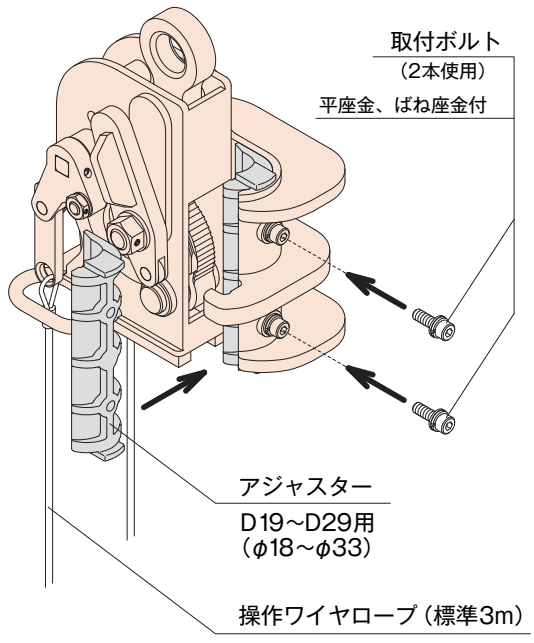
新機能

強化ガイド・ガイド受け・ワイドカムアジャスターの脱着で広範囲な鉄筋に対応!!



アジャスター付き（D19～D29／φ18～φ33）
アジャスター無し（D32～D41／φ32～φ48）

※アジャスターは、必ずイーグルクランプ純正品を使用してください。
ボルト2本止めです。



遠隔操作

2本の操作ワイヤロープを引くことにより自動開放を行う構造です。
通常3mのワイヤが付属しております。（最長9mです）
長さに指定がございましたらお問い合わせください。

二重ロック機構

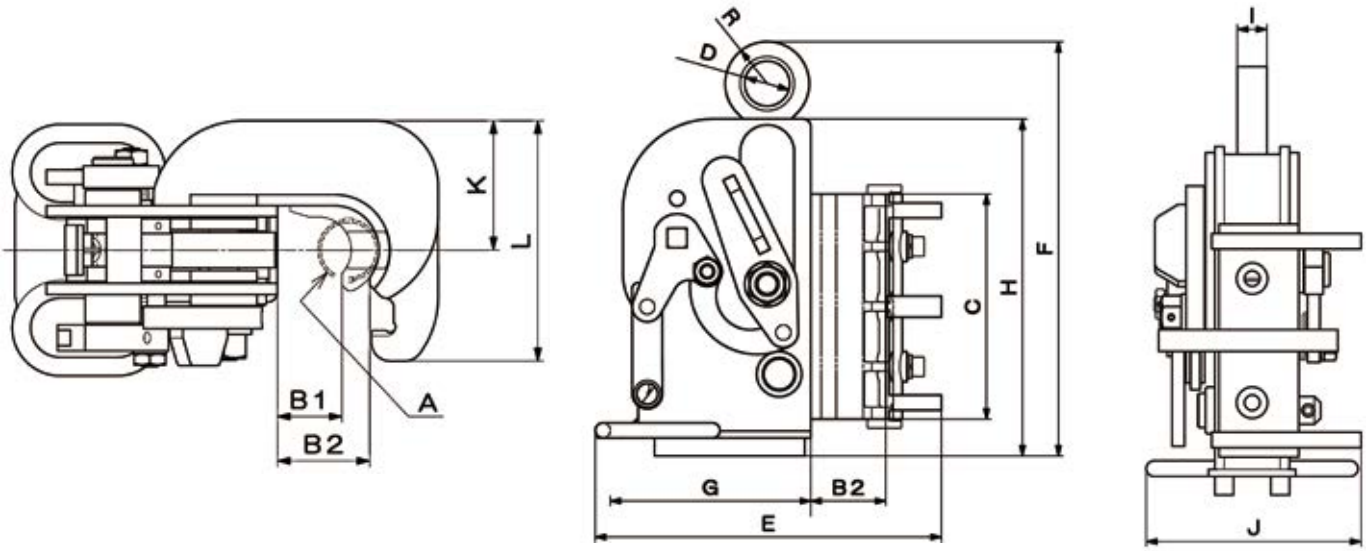
ロックレバーをロック位置まで押し込むと、ロックレバーと連動しているレバーストッパーカムがロックレバーストッパーに動きを制御されているため、ロックレバーだけでは開放できない二重ロック機構になっています。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

仕様寸法図

開放時

ロック時



型式	最大使用荷重(t)	許容使用寸法図A		寸法(mm)							製品質量(kg)
		狭	広								
CSBL-1.5 (D19-D41)	1.5	鉄筋呼び名		B1	B2	C	D	E	F		10.4
		D19~D29	D32~D41	35	50	150	30	231	276~320		
		丸棒(mm)		G	H	I	J	K	L	R	
		18~33	32~48	133.5	224.5	19	136	70	130	28	

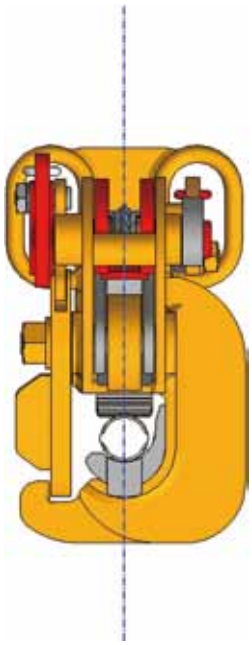
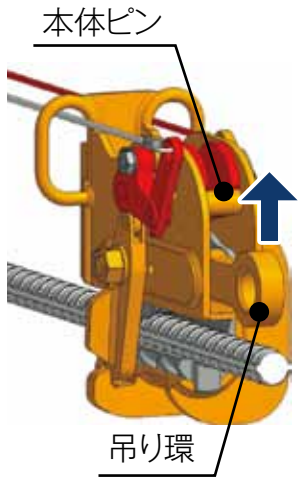
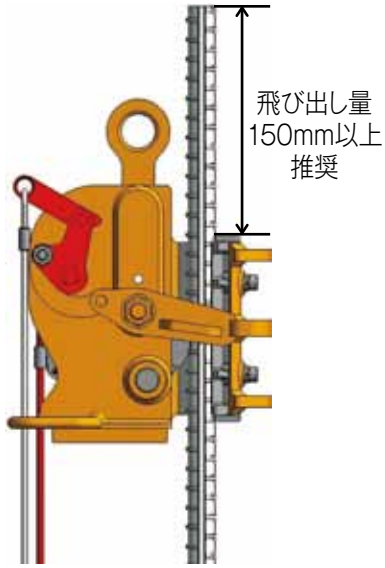
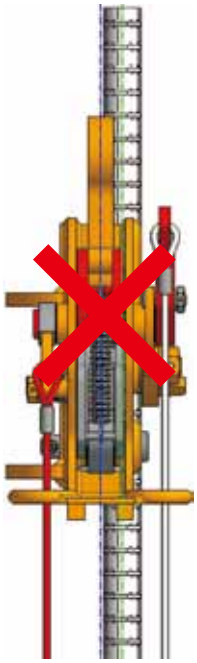
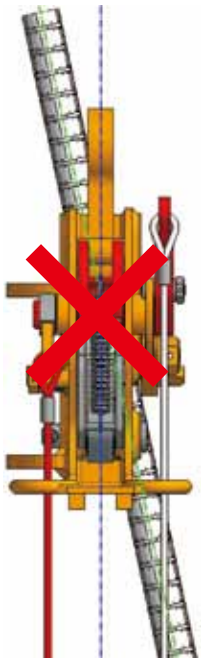
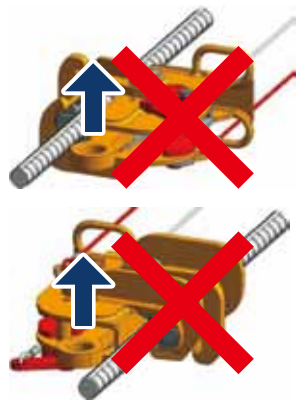
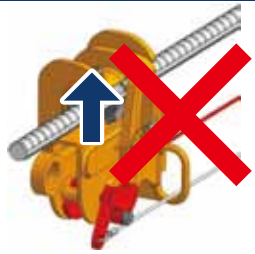
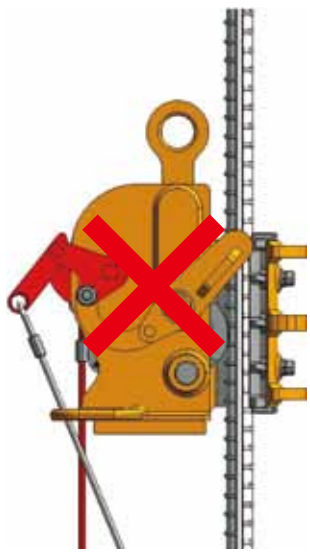
使用上の注意

●吊り荷を横にしてクランプを取り付ける場合は、吊り環が吊り荷の上側に、受け金が吊り荷の下側にくるように取り付けてください。
●対向角度(θ3)は60°以内、掛け幅角度(θ4)は20°以内で使用してください。
●吊り荷固定後のクランプ取り外しの際は、完全に無負荷の状態で、且つスプリングが十分にたるんでいないと、遠隔操作用ロープを引っ張っても、クランプは開放できない構造になっています。

※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

RJ 取り付け状態正誤表

	吊り荷の中心に取り付ける	吊り荷の中心と同一線上に取り付ける	荷重を加えたときに、吊り環が本体ピンに当たる向きに取り付ける	ロック装置を確実にセットする
指示 指示している取り付け方				
禁止 禁止とする取り付け方	⚠ 中心のズレ 	⚠ 斜め取り付け 	⚠ 横向き取り付け  ⚠ 逆向き取り付け 	⚠ ロック位置が不完全 

⚠ 取り付け時および荷重を加えた状態で指示状態になるようにしてください。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上の注意事項

1. 取扱説明書の必読

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

2. 作業前点検の厳守

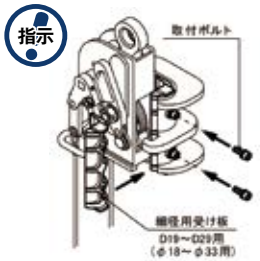
必ず作業開始前の点検、および定期点検を実施し異常のあるクランプは使用しないでください。

3. 油等付着物の除去

吊り荷のつかみ部に油、塗料、スケール、錆等の付着物がある場合は、きれいに取り除いてください。

4. 使用基準の厳守

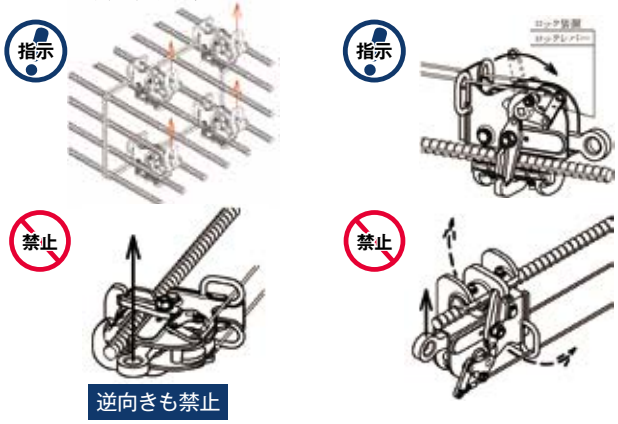
クランプの最大使用荷重を超えるもの、および許容使用寸法以外の吊り荷は絶対に吊らないでください。
ご使用前に必ず吊り荷の直径または呼び名を確認開口調整を行ってください。



○最大使用荷重1.5tonを超える吊り荷は、絶対に吊らないでください。クランプの破損、吊り荷の落下等の原因となります。
○細径用受け板は、必ず当社純正品を使用してください。(ボルト2本止め)

5. 横向き吊り荷のクランプ取り付け方

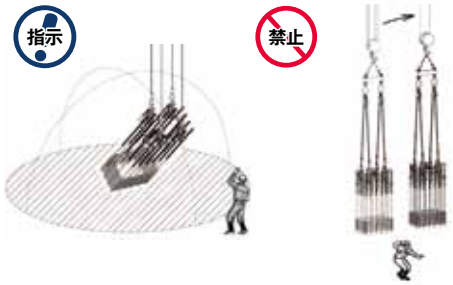
引き起こしの際は、ロックレバー側を上にして取り付けてください。反対向きに取りつけると、クランプが回転し、カムが吊り荷から外れる(クランプされていない状態になる)恐れがあり危険です。



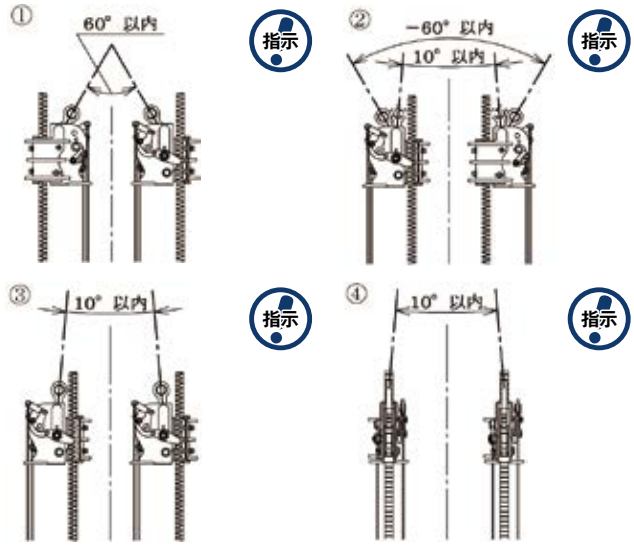
逆向きも禁止

6. 転倒範囲内立入禁止

吊り荷の落下・転倒範囲内には立ち入らないでください。
また、人の頭上通過・頭上での作業は絶対に行わないでください。



7. 吊り角度の厳守



① ロックスプリング側が向き合っているときの角度は60°以内
② 受け板側が向き合っているときの角度は−60°～10°以内
③ ロックスプリング側と受け板側が向き合っているときの角度は10°以内
④ ガイドリンクユニット側とレバーストッパーカム側が向き合っているときの角度は10°以内
(天秤やバランサーを使用した垂直吊り推奨)

8. 天秤やバランサーの使用

多点吊りの場合は、クランプおよび吊り荷同士が干渉しないように、吊り荷の状況に合った天秤等を使用してください。

9. 鉄筋吊りクランプの4点吊りでの最大使用荷重について

□滑車等を使用して、均等に荷重がかかるように使用していただける場合のみ、
最大使用荷重は、1.5ton×4台=6ton

□滑車等を使用しない場合は、
4点吊りであっても3点吊りと考え
最大使用荷重は、1.5ton×3台=4.5ton
クランプの取り付け位置、スリングの長さ等、すべてが一定であることが必要になります。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

点検表

当社の点検！

返却時

カムの歯の摩耗や欠け、各部変形等を検収します。
（摩耗や欠けがある場合交換します）

分解～磨き～清掃～塗装

スプリングピンは毎回新しい物と交換します。

組み立て後

スプリングピンが正しく差し込まれているか？稼動はスムーズか？
等をチェック。
開口部等測定します。

各部に注油し、注意確認シールを貼り、再度チェック。

測定し、基準値に満たない製品は、絶対に出しません。

当社では必ず『製品検査報告書』を出荷時におつけしています。

【リース会社用】

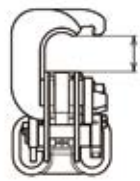
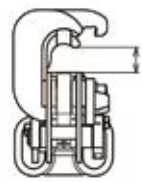
鉄筋つりクランプ　CSBLII型　製品検査報告書

製品番号	NSB-000

検査年月日 ○○○○年○月○日

◆測定結果

No.	項　目	点検個所No.	基　準		測定値
1	本体開口寸法（細径用受け板取り外し時）	1-1	53.0mm以上は不可		50.40
2	本体開口寸法（細径用受け板取り付け時）	16-1	38.0mm以上は不可		
3	カムとガイドの間隔寸法	B-3	18.0mm以上は不可		14.50
4	ロックスプリングの伸び ※「2.5」「3.0」はスプリングの線径です。適応欄のみ記入してください。	15-1	2.5	86.1mm以上は不可	82.20
			3.0	92.4mm以上は不可	

	No.1	No.2	No.3	No.4
図				

◆確認項目

No.	項　目	点検個所No.	確認
5	刻印が明確に表示され、読み取ることができるか	A-1	V
6	本体が貼り付けされている銘板またはシールについて、明確に表示されているものが取り付けられているか	A-1	V
7	スムーズに作動しているか	B-1,2	V
8	ガイド取付ボルトの曲がりがないか	1-5	V
9	溶接部に異常はないか	1-6	V
10	カムの歯の摩耗（0.5mm以上）・欠け・目詰まりがないか	4-1	V
11	カシメ部にゆるみがないか	4-3.13-3	V
12	「ロックスプリング」に変形および付着物（サビ等）がないか	15	V
13	「細径用受け板」が取り付けられ、ボルトが締め付けられているか	16-4	V
14	操作ワイヤロープに異常はないか	17,18	V
15	本体・部品に深さ2mm以上の傷がないか	全般	V
16	正常に組み立てられ、部品の取り付け忘れがないか	-	V
17	「スプリングピン」が差し込まれているか（一度抜いたものは使用禁止）	-	V
18	摺動部に注油を行ったか	-	V

検査実施会社　東京アール・アイ株式会社　　検査員　東京　太郎　東京

■注　記

※本書に記入するときは、必ず取扱説明書（詳細版）の点検マニュアルを参照して行ってください。（「点検個所No.」等）
※基準値を超えるものや異常のあるものは、取扱説明書にのっとり、部品の交換を行うか廃棄としてください。
※製品番号は、クランプ本体にアルファベット3文字、数字4桁で刻印されています。（例.NRC-1234）
※測定結果の測定値欄に、ノギス等の測定具で測定した値を記入する。（小数点第一位までを記入）
※確認項目について検査を行い、異常がなければ確認欄に『V』を記入する。
※納品時には、本書を添付していただきますようお願いいたします。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

KT-1（ワンタッチ式小梁吊りクランプ）

製品質量 1.7kg　製品コード：KT-1　リース・販売

「荷降ろし作業」と、「建て方作業」に抜群の安全性と威力を発揮します。

■吊り穴に「ワンタッチ取り付け」「ツータッチ取り外し」で操作も簡単です。（もちろんピンのロック機能付きです）
■取り扱いやすいコンパクトタイプです。
■ピンも一体化していますので、シャックルの様にボルト・ナットの落下事故がありません。
■縦吊り（3ton）はもちろん横吊り（2ton）にも対応していますので、あらゆる使い方で使用していただけます。

□ 縦吊り作業

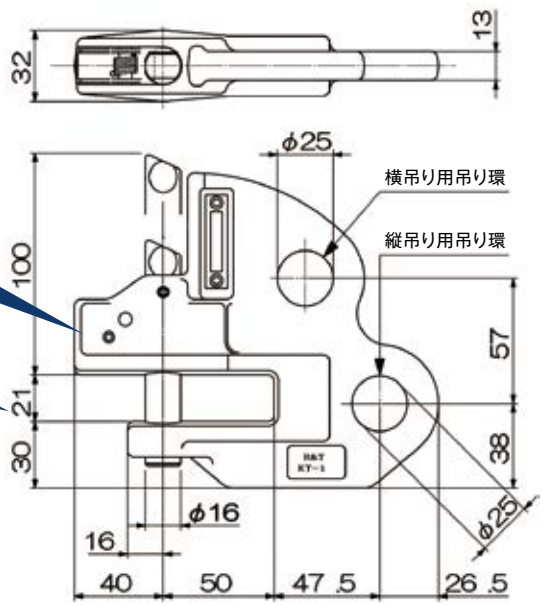
□ 横吊り作業

使用荷重	縦吊り	横吊り
	3ton	2ton

寸法図

ラチェットロック

板厚20mmまでセットできます



試験結果はホームページに記載されています。www.tokyori.co.jp

取付方法

①ピンを吊り穴に合わせます。

②"カチッ"と音がするまでピンを差し込みます。

③セット完了。ピンが抜けないことを確認します。

取外方法

ラチェットを開放しピンを引き抜きます。

※寸法と図の形状は、現品と異なる場合があります。また仕様・寸法・材質など変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。